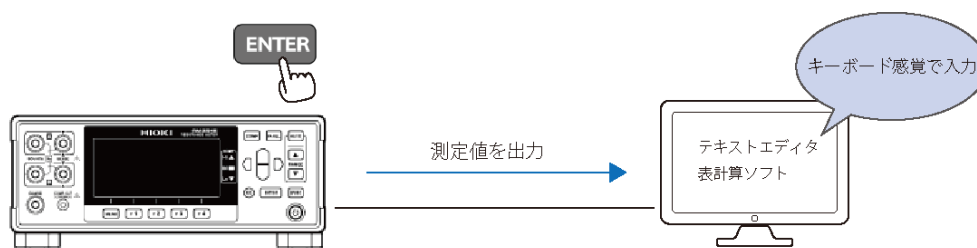


RM3545, RM3545-01, RM3545-02 抵抗計 取扱説明書 補足説明

RM3545, RM3545-01, RM3545-02 抵抗計の取扱説明書(RM3545A980-04)に補足がございます。
取扱説明書に併せて、次の内容をご覧ください。

● 「11.4 測定終了ごとに測定値を自動送信する（データ出力機能）」(p.236)

測定値をキーボードで打ち込むような感覚で、テキストエディタや表計算ソフトに文字を入力できます。
測定値を入力するときは、ENTER キーを押します。または、外部入出力(EXT I/O)で TRIG 信号を入力します。



トリガソースを[INT](内部トリガ)に設定していて、且つ、USB インタフェースを [KEYBD] (USB キーボード)に設定しているときのみ有効です。

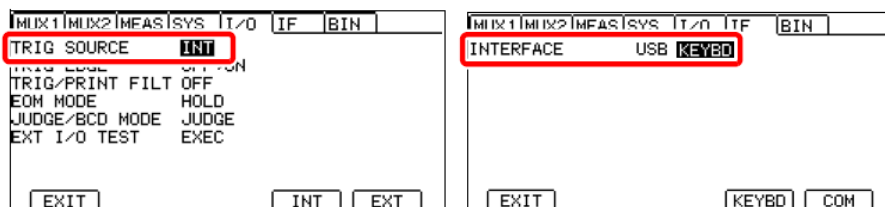


表 1 測定値の自動送信方法の一覧

DATA OUT		ON		OFF	—			
ENTERキー押下 / TRIG信号入力		あり	なし	任意	あり	なし		
TRIG設定		INT	EXT	任意	INT	EXT	INT	EXT
I/F	RS-232C	✓	✓	—	—	—	—	—
	USB	COM	✓	✓	—	—	—	—
		キーボード	—	—	—	—	—	✓

- ✓: 測定値が自動送信されます
- : 測定値は自動送信されません
- 斜線: 設定できない条件です

参照 「10.4 外部入出力に関する設定」の手順 3(p.210)

参照 「11.2 使用前の準備(接続と設定)」の手順 4(p.224)

● 「RS-232C インタフェースを使用する」 (p.226、 p.227)

手順 4 と手順 5 のあいだに追加

データ出力機能 (p.236) の ON/OFF を選択します。

MUX1	MUX2	MEAS	SYS	I/O	IF	BIN
					RS232C	
					9600bps	
					DATA OUT	ON
					CMD MONITOR	OFF
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> EXIT ON OFF </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin-top: 5px;"> F3 F4 </div>						

1 選択

2

F3 データを自動送信する

F4 データを自動送信しない(初期設定)

注記

本器をコマンドで制御する場合は、データ出力機能 (DATA OUT) を OFF に設定してください。

ON に設定すると、測定値の応答が二重になったり、コマンドを受け付けなくなったりするおそれがあります。

以上